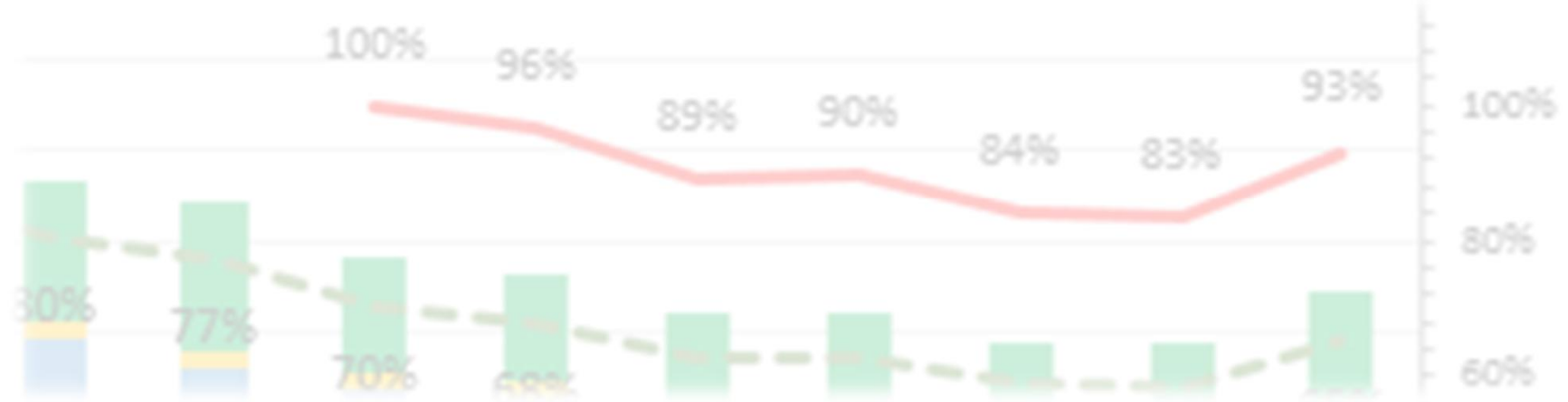




－エネルギーの使用状況資料の解説－

令和7年10月
国土交通省北海道開発局





1. エネルギーの使用状況資料について

～ 資料の概要と目的 ～

2. 一次エネルギー消費量一覧

～ 資料の確認方法 ～

3. 施設保全状況診断書(BIMMS-N)

～ BIMMS-Nによる一次エネルギー消費量の抽出方法 ～

【〇〇管内】	××事務所	施設数:	6
延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱室による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱室)を元に算出しています。 「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(L)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の発熱量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。 データは、今後の精査により修正される可能性があります。 一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。 凡例 「規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安」の上限値を超えている 一次エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より2013年度比10%未満(比率が90%以上) ***詳しくは北海道開発局宮内宮務部宮務調整課へお問い合わせください。011-709-2311内線5730***			

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安	
施設の規模	1㎡あたりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000 ㎡以上～ 2,000 ㎡未満	461 ～ 856
延べ面積 2,000 ㎡以上～ 3,000 ㎡未満	515 ～ 884
延べ面積 3,000 ㎡以上～ 10,000 ㎡未満	550 ～ 932
延べ面積 10,000 ㎡以上	644 ～ 1,175

国家機関の建築物等の保全の状況(令和2年3月)より

国史機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より

施設全体の状況

◆前年度からの増減率
(当年度/前年度)

◆2013年度からの増減率
(当該年度/2013年度)

10%

-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費総量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ

◆1m²当たりの年間一次エネルギー消費量(MJ/m²・年)◆前年度からの増減率
(18年度/17年度)◆2013年度からの増減率
(14年度/2013年度)

再减少 增加

■ 削減率10%未満

	-100%	-50%	0	50%	100%
		-13%			
				33%	
				11%	
		-7%			
				11%	
				11%	
				8%	

		-100%	-50%	-10%	0	50%	100%
1				-13%			
				-11%			
					4%		
				-8%			
				-5%			
2					0%		
				-10%			
				-5%			

◆本資料は、国の機関に入力していただいている、官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）の光熱量の入力値を基に作成。

◆提供資料は、毎年、前年度までのデータで提供しています。

【○○管内】

××事務所

施設数: 6

6

- ・延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱室による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS→入力データ(光熱室)を元に算出しています。
- ・「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)、油(k)、ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の光熱室をエネルギー(MJ・t当り)で表したものです。
- ・データは、今後の精度により修正される可能性があります。
- ・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。

・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変化的場合があります。

凡例 「規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安」の上限値を超えている
エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点で2013年度比10%未満(比率が90%以上)

詳しくは北海道開発局営繕部営繕調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

[illegible]

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡あたりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000 ㎡以上～ 2,000 ㎡未満	461 ～ 856
延べ面積 2,000 ㎡以上～ 3,000 ㎡未満	515 ～ 884
延べ面積 3,000 ㎡以上～ 10,000 ㎡未満	550 ～ 932
延べ面積 10,000 ㎡以上	644 ～ 1,175

国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より

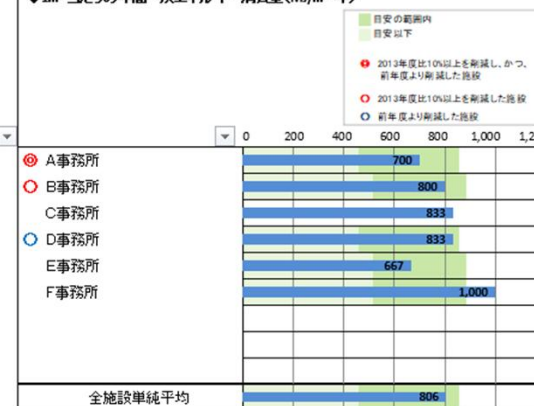
施設全体の状況

◆前年度からの増減率 (△該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (△該年度/2013年度)
10%	-6%

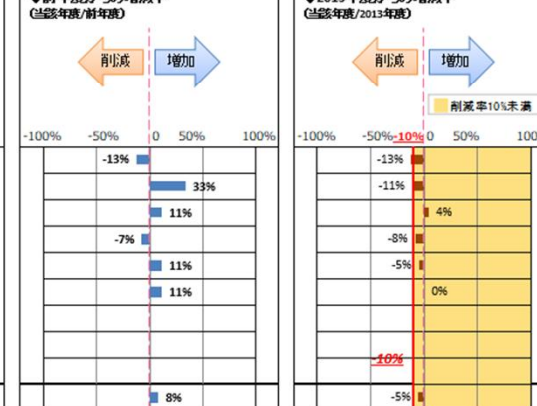
※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費総量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。

※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ

◆1m² 当たりの年間一次エネルギー消費量(MJ/m²・年)

◆前年度からの増減率



官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）の入力値を集計 一次エネルギー消費量とは？

電気・油・ガス等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、
燃料別の発熱量をエネルギー（MJ：メガジュール）で表したもの

電気使用量 (〇〇kw)	× 換算係数 9.96	+	重油使用量 (〇〇kl)	× 換算係数 39.1	+	ガス使用量 (〇〇m³)	× 換算係数 45	=	ギ一消費量 (〇〇MJ)
-----------------	----------------	---	-----------------	----------------	---	-----------------	--------------	---	-----------------

2. 一次エネルギー消費量一覧

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

・延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱量による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱量)を元に算出しています。
・「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(L)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の発熱量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
・データは、今後の精査により修正される可能性があります。
・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
凡例 「規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安」の上限値を超えている
エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点で2013年度比10%未満(比率が90%以上)
詳しくは北海道開発局営繕部営繕調整課へお問い合わせください。K011-709-2311内線5730

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

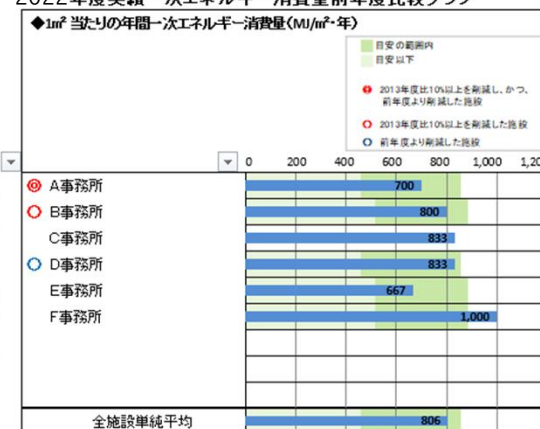
実績年度	省庁	施設名称	延べ面積 (㎡)	1㎡当たり 一次エネルギー 消費量 (MJ/㎡年)	年間 一次エネルギー 消費量 (MJ/年)	1㎡ 当たりの 一次 エネルギー 消費量 前年度 比率	前年度 1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡年)	1㎡ 当たりの 一次 エネルギー 消費量 2013年度 比率	2013年度 1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%	852

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡あたりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より

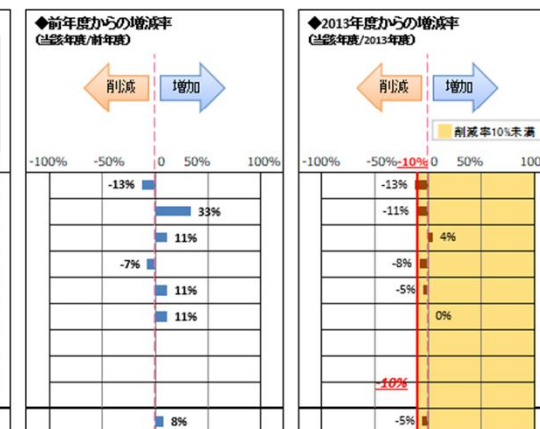
2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



施設全体の状況

◆前年度からの増減率 (2022年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (2022年度/2013年度)
10%	-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。



施設名称

類似施設のグループごとに、一覧になっている。

- ・ ブロック機関は、管内の所管施設
- ・ 合同庁舎は、道内の合同庁舎

2. 一次エネルギー消費量一覧



「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

【〇〇管内】

××事務所

施設数: 6

・延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱量による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱量)を元に算出しています。
・「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(L)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の発熱量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
・データは、今後の精査により修正される可能性があります。
・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。

凡例 [規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安]の上限値を超えている
エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点で2013年度比10%未満(比率が90%以上)

詳しくは北海道開発局営繕部営繕調整課へお問い合わせください。℡011-709-2311内線5730

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より

施設全体の状況

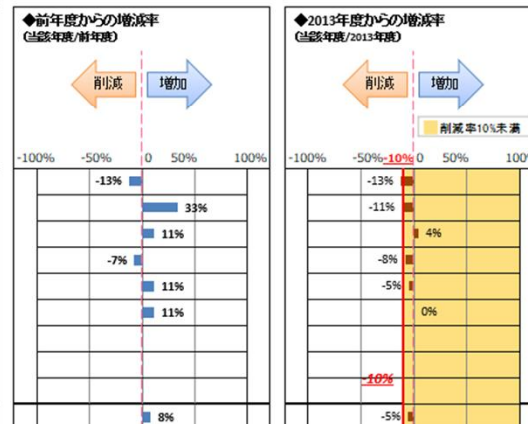
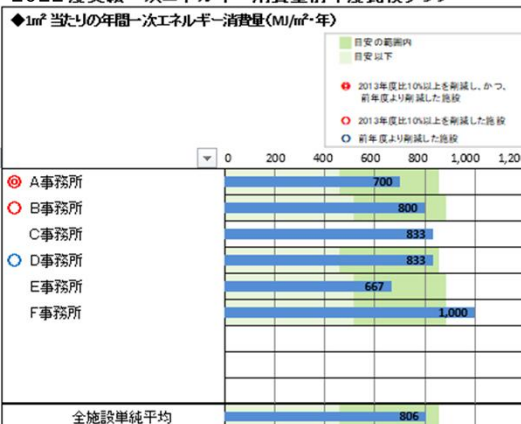
◆前年度からの増減率 (当該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (当該年度/2013年度)
10%	-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物 延べ面積 (合計) (図附)	1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡・年)	年間 一次エネルギー 消費総量 (MJ/年)	1㎡ 当たりの 一次 エネルギー 消費量 前年度 比率	前年度 1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡・ 年)	1㎡ 当たりの 一次 エネルギー 消費量 2013年度 比率	2013年度 1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡・ 年)
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%	852

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



比較① 1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

2. 「一次エネルギー消費量一覧」



庁舎の規模別の単位面積あたりの年間一次エネルギー消費量の目安

敷地内建物の合計延べ面積 (附属屋等を含む)	単位面積あたりの年間 一次エネルギー消費量 (MJ/m ² ・年)		
1,000 m ² 以上～2,000 m ² 未満	458	～	878
2,000 m ² 以上～3,000 m ² 未満	536	～	939
3,000 m ² 以上～10,000 m ² 未満	574	～	963
10,000 m ² 以上	612	～	1,176

国家機関の建築物等の保全の現況（令和6年3月）より

- 官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）の光熱量入力値から算出
- 全国の国家機関の「庁舎」を集計し算出
(宿舎、病院、刑事施設等収容施設、防衛省の特殊施設、文化財・史跡、皇室用財産を除く)
- 1,000m²未満は、施設用途によりバラツキがあるため目安設定なし

2. 一次エネルギー消費量一覧

【〇〇管内】 ××事務所 施設数: 6

・延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱室による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱室)を元に算出しています。
・「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(l)・ガス(m³)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の換算量をエネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
・データは、今後の精査により修正される可能性があります。
・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
凡例 「規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安」の上限値を超えている
エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点より2013年度比10%未満(比率が90%以上)
詳しくは北海道開発局営繕部営繕調整課へお問い合わせください。☎011-709-2311内線5730

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000 ㎡以上 ~ 2,000 ㎡未満	461 ~ 856
延べ面積 2,000 ㎡以上 ~ 3,000 ㎡未満	515 ~ 884
延べ面積 3,000 ㎡以上 ~ 10,000 ㎡未満	550 ~ 932
延べ面積 10,000 ㎡以上	644 ~ 1,175

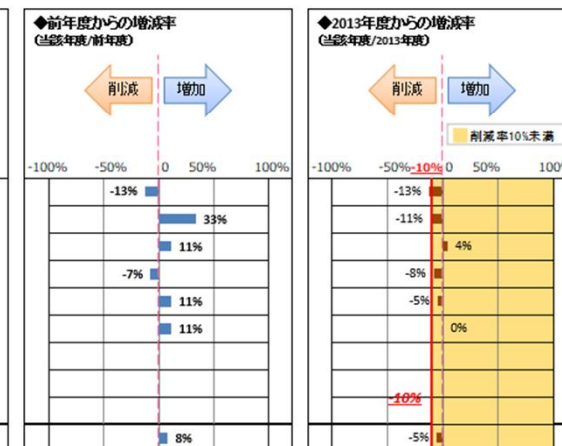
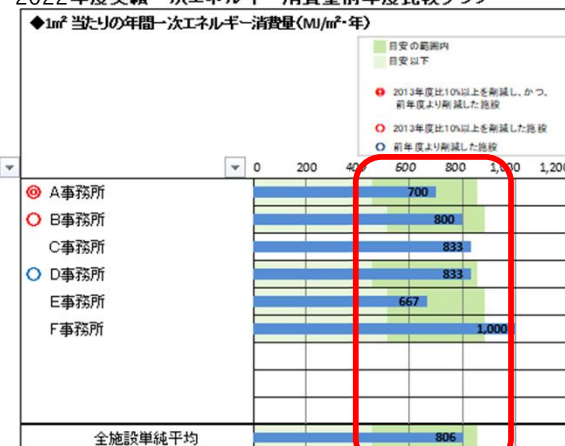
国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)より

施設全体の状況	
◆前年度からの増減率 (当該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率 (当該年度/2013年度)
10%	-6%
※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。 ※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。	

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物 延べ面積 (合計) (㎡)	1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡年)	年間 一次エネルギー 消費総量 (MJ/年)	1㎡ 当たりの 一次 エネルギー 消費量 前年度 比率	前年度 1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡ 年)	1㎡ 当たりの 一次 エネルギー 消費量 2013年度 比率	2013年度 1㎡当たり 一次 エネルギー 消費量 (MJ/㎡ 年)
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	750	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均			1,617	806	1,308,333	108%	758	95%	852

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



比較① 1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

：上限値を超えている ：目安の範囲内

目安からはずれている場合は、当該施設の運用実態に対してエネルギー消費量が妥当か、確認をお勧めします。

運用実態で差が出る例

寒冷地などの地域特性、その年の気候、夜間・休日利用の状況
合同庁舎・単独庁舎の形態等

国土交通省

施設数: 6

・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。

詳しくは北海道開発局営繕部営繕調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

[illegible]

施設の規模	1㎡あたりの年間一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000 ㎡以上～ 2,000 ㎡未満	461 ～ 856
延べ面積 2,000 ㎡以上～ 3,000 ㎡未満	515 ～ 884
延べ面積 3,000 ㎡以上～ 10,000 ㎡未満	550 ～ 932
延べ面積 10,000 ㎡以上	644 ～ 1,175

国家機関の建築物等の保全の現況(令和2年3月)と

-6%

※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費総量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※施設数単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

Horizontal bar chart showing the number of facilities (施設数) for each business unit (A to F) categorized by investment status (投資状況).

Legend (投資状況):

- 緑色の範囲内: 目安以下 (Within green range: Below guideline)
- 目安以下: 目安以下 (Below guideline)
- 2013年度比10%以上を削減し、かつ前年度より削減した施設: 2013年度比10%以上を削減し、かつ前年度より削減した施設 (Facilities reduced by 10% or more compared to FY2013 and also reduced from the previous year)
- 2013年度比10%以上を削減した施設: 2013年度比10%以上を削減した施設 (Facilities reduced by 10% or more compared to FY2013)
- 前年度より削減した施設: 前年度より削減した施設 (Facilities reduced from the previous year)

投資状況	A事務所	B事務所	C事務所	D事務所	E事務所	F事務所
2013年度比10%以上を削減し、かつ前年度より削減した施設	700	800	833	833	667	1,000
2013年度比10%以上を削減した施設						
前年度より削減した施設						
全施設単純平均						806

Category	Change (%)
Decrease (orange bar)	-13%
Increase (blue bar)	33%
Increase (blue bar)	11%
Decrease (orange bar)	-7%
Increase (blue bar)	11%
Increase (blue bar)	11%
Increase (blue bar)	8%

削減	増加
-13%	4%
-11%	
-8%	
-5%	0%
-10%	
-5%	

※ 異常値等により、2013年の数値と
していない場合があります。

削減 増加

	-100%	-50%	0	50%	100%
1		-13%			
2				33%	
3			11%		

2. 一次エネルギー消費量一覧

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

【〇〇管内】

××事務所

施設数: 6

・延べ面積、一次エネルギー消費量(光熱量による算出)は2020年度(2019年度実績)のBIMMS-N入力データ(光熱量)を元に算出しています。
・「一次エネルギー消費量」とは、電気(kWh)・油(k)・ガス(n)等の消費量にそれぞれの換算係数をかけて、燃料種別の換算エネルギー(MJ:メガジュール)で表したものです。
・データは、今後の審査により修正される可能性があります。
・一次エネルギー換算係数は変動があるため、同じ使用量でも年度によって一次エネルギー消費量が変わる場合があります。
凡例 [規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安]の上限値を超えている
エネルギー消費量の削減率が、2019年度時点で2013年度比10%未満(比率が90%以上)
詳しくは北海道開発局宮城部宮城調整課へお問い合わせください(011-709-2311内線5730)

単位面積当たりの一次エネルギー消費量一覧

実績年度	省庁	施設名称	敷地内建物延べ面積(合計)(㎡)	1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	年間一次エネルギー消費量(MJ/年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量前年度比	前年度1㎡当たりの一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	1㎡当たりの一次エネルギー消費量2013年度比	2013年度1㎡当たり一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)
2019	〇〇省	A事務所	1,000	700	700,000	88%	800	88%	800
2019	〇〇省	B事務所	2,500	800	2,000,000	133%	600	89%	900
2019	〇〇省	C事務所	900	833	750,000	111%	700	104%	800
2019	〇〇省	D事務所	1,200	833	1,000,000	93%	900	92%	910
2019	〇〇省	E事務所	2,100	667	1,400,000	111%	600	95%	700
2019	〇〇省	F事務所	2,000	1,000	2,000,000	111%	900	100%	1,000
全施設単純平均				1,617	806	1,308,333	108%	738	95%

庁舎の規模別1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量の目安

施設の規模	1㎡当たりの年間一次エネルギー消費量(MJ/㎡・年)
延べ面積 1,000㎡以上～ 2,000㎡未満	461～856
延べ面積 2,000㎡以上～ 3,000㎡未満	515～884
延べ面積 3,000㎡以上～ 10,000㎡未満	550～932
延べ面積 10,000㎡以上	644～1,175

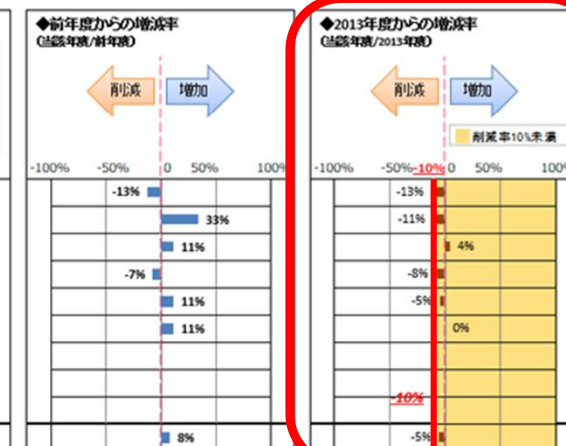
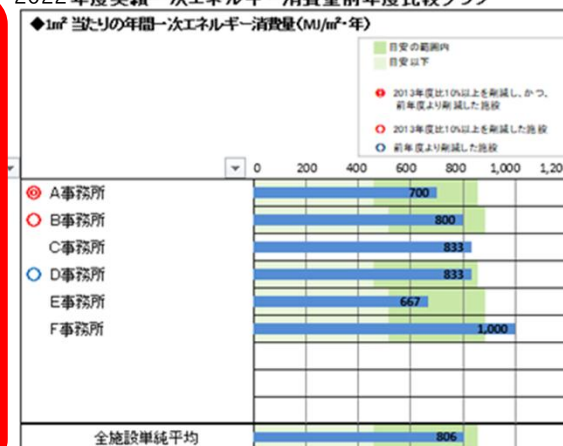
国家機関の建築物等の保全の視覚(令和2年3月)より

施設全体の状況

◆前年度からの増減率(当該年度/前年度)	◆2013年度からの増減率(当該年度/2013年度)
10%	-6%

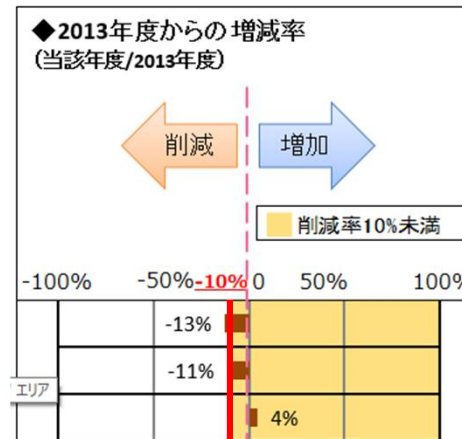
※施設全体の増減率は、延べ面積の合計と年間一次エネルギー消費量の合計により算出しておりますので、各施設の増減率を単純平均した値とは異なる場合があります。
※全施設単純平均は施設間比較の参考として、施設全体の増減率は全体状況確認の参考としてください。

2022年度実績一次エネルギー消費量前年度比較グラフ



比較③ 2013年度との比較

黄色 : 90%以上 (削減率10%未満)
赤線 : -10%



3. 施設保全状況診断書(BIMMS-N)

「保全実態調査結果診断・分析」で年・月ごとのデータを抽出

①「保全実態調査結果診断・分析」を選択

②施設を検索する条件を指定（調査年度を指定）

※必ず調査年度を指定してください。「最新」を選択すると正しく抽出されません。

BIMMS-N
官庁施設情報管理システム

ユーザー: EOVKTAPO
ユーザー名: 営繕調整課 04
属性: 保全指導担当者

ログアウト

■ 保全実態調査・官庁建物実態調査
・調査票入力・閲覧

■ 保全実態調査結果診断・分析

■ 施設維持管理
・点検記録情報管理
・修繕履歴情報管理
・中長期保全計画作成
・中長期保全計画集計

■ 調査関連資料

■ 保全実態調査結果診断・分析 >> 保全実態調査結果診断・分析

・条件設定

調査年度: 2019

施設名称:

所在地:

管理官署(省庁名):

実地指導担当営繕事務所等:

状態: ☐ 未報告 ☐ 報告済 ☒ 確定済

用途区分コード: ☐ 0. 合同庁舎 ☐ 1. 複数の機関が使用する庁舎 ☐ 2. 一般庁舎
☐ 3. 宿舍 ☐ 4. 庁舎・宿舍以外

検索 ☐ 評価・分析テーブル
エクスポート

実行

施設一覧

調査年度	施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署(省庁名)	実地指導担当営繕事務所等	状態	用途区分	診断書ダウンロード
------	---------	------	-----	-----------	--------------	----	------	-----------

留意事項

- 調査年度は、選んだ年度を含め過去3年分の状況が出力されます。
- 調査年度は、BIMMS-Nへの登録年度となるため、出力される数値はその前年度の数値記録となります。

3. 施設保全状況診断書(BIMMS-N)

「保全実態調査結果診断・分析」で月ごとのデータを抽出

← ↻ 🏠 🔒 https://bimms-n.mlit.go.jp/hozenweb/ 🔍 A

BIMMS-N

官庁施設情報管理システム

ユーザー：EOVKTAPO
ユーザー名：営繕調整課 04
属性：保全指導担当者

 ログアウト

- 保全実態調査・官庁建物実態調査
 - ・調査票入力・閲覧
- 保全実態調査結果診断・分析
 - ・保全実態調査結果診断・分析
 - ・分析ツール
- 施設維持管理
 - ・点検記録情報管理
 - ・修繕履歴情報管理
 - ・修繕履歴検索
 - ・中長期保全計画作成
 - ・中長期保全計画集計
- 調査関連資料
- 点検リマインダー
 - ・建築物基本情報登録
 - ・施設予算要求状況確認
 - ・点検実施状況編集・確認
 - ・注意喚起メッセージ設定
- TOP
- パスワード変更
- ログアウト

■ 保全実態調査結果診断・分析 >> 保全実態調査結果診断・分析

・条件設定

情報管理ID:

調査年度: 2019 ▼

施設名称:

所在地:

管理官署(省庁名):

実地指導担当営繕事務所等:

状態: ☐ 未報告 ☐ 報告済 ☒ 確定済

用途区分コード: ☐ 0.合同庁舎 ☐ 1.複数の機関が使用する庁舎 ☐ 2.一般庁舎 ☐ 3.宿舍 ☐ 4.庁舎・宿舍以外

☒ 検索 ☐ 評価・分析テーブル
エクスポート

実行

施設一覧

情報管理ID	調査年度	施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署(省庁名)	実地指導担当営繕事務所等	状態	用途区分	診断書ダウンロード
0000002592	2022	10000008	札幌第1合同庁舎	北海道札幌市北区北8条西丁目	財務省北海道財務局合同庁舎管理官室	811.北海道開発局営繕部直轄	確定済	0.合同庁舎 1.事務庁舎	 ダウンロード

⑤検索結果が表示されますので、出力したい施設について「ダウンロード」を選択すると、施設保全状況診断書が出力されます。

3. 施設保全状況診断書(BIMMS-N)

施設保全状況診断書

■基本情報

施設名称	〇〇地方合同庁舎	都道府県	北海道	建物棟数	〇
組織区分コード	〇〇省 〇〇省	市町村	〇〇市	職員数合計	〇〇〇〇
施設識別コード	〇〇〇〇〇〇〇〇	敷地内建物の延べ面積(㎡)	53,133.62	エネルギー使用の特異な施設	—

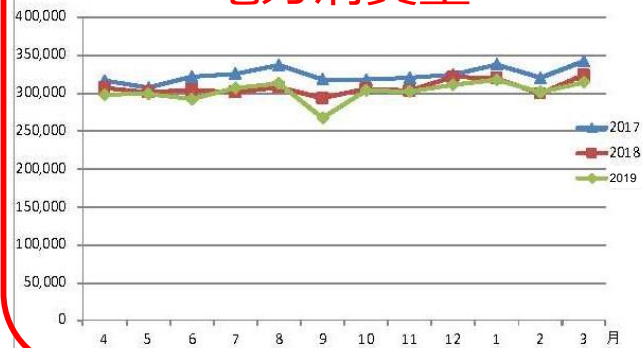
■評価

保全計画・記録	2017	2018	2019
施設保全責任者の有無	100	100	100
年度保全計画書の作成	100	100	100
中長期保全計画書の作成	100	100	100
点検及び確認結果の記録	50	100	100
修繕履歴の作成	100	100	100
評点	90.0	100.0	100.0
施設状況	2017	2018	2019
空気環境	100	100	100
照明照度	100	100	100
熱環境(冷暖房の状況)	100	100	100
衛生環境	50	50	50
清掃	100	100	100
消防・防災	0	0	0
建築・附属施設 外壁の状況	100	100	100
建築・附属施設 漏水の状況	100	100	100
設備機器	50	50	50
家具の転倒防止対策	50	50	50
避難経路等における障害物の有無	100	100	100
施設使用条件適合の可否(建築)	100	100	100
施設使用条件適合の可否(設備)	100	100	100
評点	80.8	80.8	80.8

定期点検	2017	2018	2019
建築物の敷地及び構造の点検	200	200	200
昇降機の点検	200	200	200
建築物の昇降機以外の建築設備の点検	0	200	200
支障がない状態の確認	200	200	200
消防用設備等の点検	100	100	100
危険物を取り扱う一般取扱所等の点検	100	100	100
事業用電気工作物の保安規定による自主点検	100	100	100
機械換気設備の点検	100	100	100
ボイラーの性能検査、定期検査	0	100	100
浄化槽の水質検査、保守点検、清掃			
簡易専用水道の水槽の清掃	100	100	100
排水設備の清掃	100	100	100
清掃等及びねずみ等の防除	100	100	100
空気環境の測定	100	100	100
冷却塔・加湿装置等の清掃等	100	100	100
給水設備の飲料水・雑用水の遊離残留塩素等の検査	100	100	100
ばい煙発生施設のばい煙量又はばい煙濃度の測定			
評点	84.2	100.0	100.0
総評点	85.0	93.6	93.6

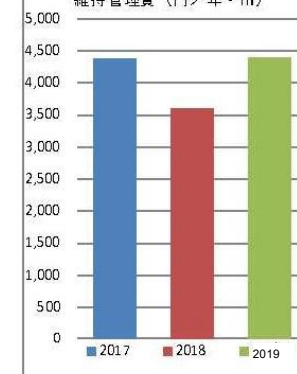
■エネルギー使用状況

電力消費量



■コスト管理

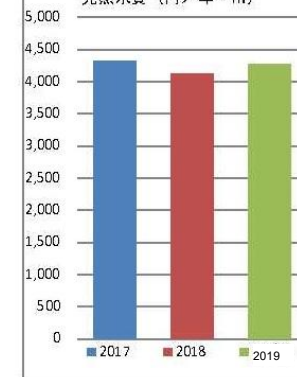
維持管理費 (円/年・㎡)



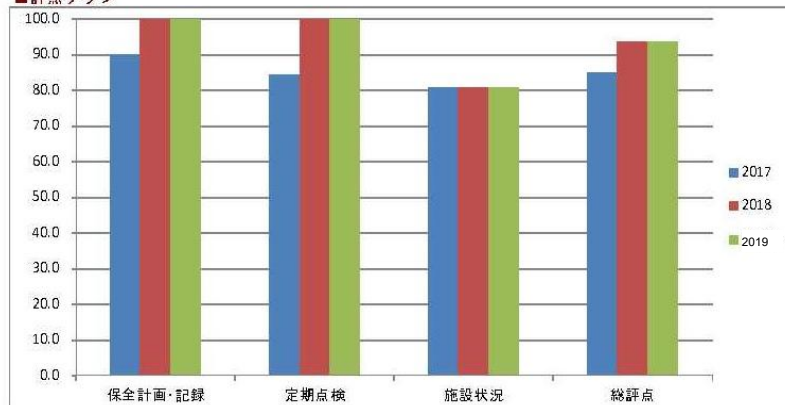
水使用量



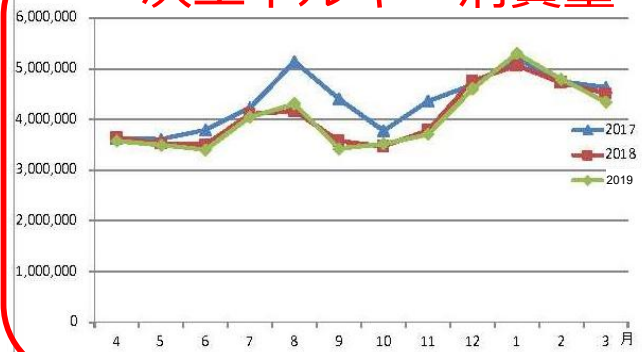
光熱水費 (円/年・㎡)



■評価グラフ



一次エネルギー消費量



修繕費 (円/年・㎡)

